

普仙寺だより

<<

>>

第205号 平成24年11月



平成24年10月29日 第41回東海地区詠唱奉納大会
名古屋市、愛知県産業労働センターにて

第40回詠唱東海大会

去る10月29日、名古屋市の愛知県産業労働センターで開催された、第41回詠唱東海大会に参加し、「久美浜本願寺の御詠歌」をお舞をつけて奉納しました。

参加者は次のとおり。

詠題

杉浦 幸子

舞

杉浦 きく子、牧野 正代、柴田 佳恵

お唱え

神山 和子、岡田 さとえ、岡田 里見、岡田 命恵、白井 勝子、
牧野 まつゑ、牧野 せい子、西郷 信代、牧野 恵子、神山 盛二、
杉本 かつ、岡田 チエコ、藤田 みち枝、田村 恵子、谷山 美智代、
杉浦 美智子、杉浦 恵子、加藤 桂子、加藤 良光

見学

福井 達二、福井 孝男、杉浦 満

(敬称略)

住職の短歌

平成23年に詠んだ短歌の続き(前回は7月号)を掲載します。

切符落つまだ間に合ふと追い掛けて重心崩し遂に転倒
背負ひ投げ技掛けられて飛ぶ如く今宵京都の駅の中飛ぶ
紅色と黄色斑の薔薇の花三人家族食卓の上
夏キャベツ収穫の朝農道に若き夫婦の箱詰めの様
六月の三河の山よ緑よし木々の繁りに勢ひを見る
長良川ほとりのホテル僧集ふ一茶の俳句に仏説を読む
やれ打つな蠅の命のいかばかり我も汝も仮和合の一
噛むことは嬉し楽しきことなりき大根サラダ梅肉の味
夏至の日の東京芝の増上寺汗をのごひて詠歌唱へぬ
六月の群青色の富士の山一筋残る残雪の白
ゆっくりとコーヒーミルを動かせば豆挽く音に心安らぐ
白川のほとりの柳窓の外やまもと喫茶夏の装ひ
夏の日を凌霄花君と見る色橙の花の数々
風景を素直に詠めぬ心地なり放射物質飛散の国土
この国に哲学あるかソクラテス我等無学の毒を飲まさる
七月の伊勢の稲田に風吹けば実り初めの穂穂の揺らめき
原子力危うきものと思はざる我が言動は瑕瑾ばかりぞ
棚経の後のお店のモーニング向かひ合わせにパンを頂く
参道の右も左も背の高き向日葵の花我を見下ろす
鶏頭の色鮮やかに咲き光る君は何故我を惑はす
赤房も白房もあり百日紅ゆらりゆらりと風に漂ふ
岡山の駅より電車津山線山深緑川は涼やか
ジェイアール駅の名前も誕生寺地元の人の上に降り立つ
誕生寺本堂軒の詠歌額大阪講の熱意表す
棕の木の梢の下に佇みて祖師の生地は今を感じる
高松の祖師の霊場法然寺本堂入りて御影を拝す
本堂の軒の上には詠歌額万葉がなを読みて詠唱
瀬戸内の海の青さよ室の津の浄運寺にて船を眺むる
勝尾寺の石段上がり坂登る二階堂には蝉時雨あり
天王寺念仏堂は絶へて無し阿弥陀堂にて御影を拝す

霊場の第七番は一心寺石柱施主は中興の僧
大川の報恩講寺参り行く大阪講の標石もあり
当麻寺駅より出て道進む祖師の御影を拝するために
新旧の詠歌額あり法然寺飛鳥の里の田園の中
小雨降る夏の終わりの東大寺寺務所に入りて朱印頂く
残暑あり嵯峨嵐山駅降りて二尊院まで足を運びぬ
二尊院詠歌の額の下に立ち両手を合はせひとり奉納
ひとり行く夏の嵯峨野の竹林に涼風渡りしばし癒さる
嵐山線路近くの法然寺額を見上げて詠歌を唱ふ
一面の緑の稲田滋賀平野夏の日差しにいよよ輝く
竜胆の薄紫の花蕾君は小窓の瓶に投げ入る
朝真白ゆうべピンクの酔芙蓉九月生まれの君と眺めむ
知恩院八百年の大遠忌詠唱の会霊場を説く
そのひとつ秋の七草藤袴紫色は躊躇ひの色
我が恋も儂しと言ふや女郎花秋の夕べの鴨川の岸
花の名は紫式部白式部可憐と言ふを君に与へむ
十月の川端通り秋の色銀杏黄緑桜は茜
床の間に青磁の花瓶吾亦紅君に尋ねて花の名を知る
花の名も宇宙を言ふもコスモスや語源はギリシヤ整然の美よ
中学の修学旅行それ以来四十年の羽田空港

山形県湯野浜温泉に行き詠唱講習会の講師を勤めて詠める歌一首

荒海の波の音聞く湯野浜に詠唱人と時を共にす
初めてのところ庄内空港のデッキに立ちて黄昏を見る
君乗せて秋の野原を走り行く夕陽に光る群れの薄穂
夕暮れに秋の蒲公英綿毛玉静かにすうと君は吹き行く
桜葉の紅葉となりし秋の日の北野を歩む昔ありけり
晩秋の陽射しを受けて伊吹山孤高なれども凜としてをり
秋更けて薄紫の色の花皇帝ダリア我を見下ろす

去る10月10日、11日に第45回豊橋組おてつぎ信行奉仕団に参加して来ました。

参加者は次の皆さん。

今泉 千代栄（19）、安藤 はるゑ（12）、杉浦 敏子（9）、
河合 正恵（6）、岡田 行弘（3）、岡田 良子（3）
（カッコ内は回数。敬称略）



平成24年10月10～11日 おてつぎ信行奉仕団へ参加された皆さん

寺行事案内

土曜礼拝（どようらいはい）

毎週土曜日 午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

- 前編第23章 一枚起請文
- 前編第24章 別時念仏
- 前編第25章 導師嘆徳
- 前編第26章 光明撰取

月並法要（つきなみほうよう）

平成24年12月8日（土） 午後7時より

年回忌の祥月にあたる方のご回向をいたします。

成道会（じょうどうえ）

平成24年12月8日（土）

お釈迦さまがお悟りを開かれた日。「成道讃」をお唱えしてお祝いします。

